

令和3年度事業報告書

公益財団法人全国友の会振興財団

第1 友の会館の設置、管理、運営事業

全国各地に友の会館を設置し、管理、運営を行い友の会が公益活動を行うために必要な拠点として友の会館を提供し、その活動強化と地域への貢献をはかる。

- 1, 友の会館耐震診断のための調査を行う
耐震診断が必要な友の会館ごとに対応し相談を重ねた。
- 2, 友の会館耐震診断、改修工事
耐震診断を大阪、市川 改修工事を神戸、奈良、高松
東京第二、千葉は減築工事を行った。
- 3, その他
松山は友の会館新築工事を開始し令和4年6月完成予定。
大垣第一友の会館3月に売却した。

第2 全国友の会が行う活動に対する援助・助成事業 助成金 1,350万円

全国友の会は、家庭生活の健全な発達に力をつくし、社会の文化向上に寄与することを目的として、生活研究を行い、それをもって周囲に働きかけた。

以下の全国友の会活動に対し援助、助成を行った。

(1) 全国友の会大会

令和2年度の全国各地の実践の報告と令和3年度全国友の会の諸活動の協議を行った。

開催日等 令和3年5月18日 オンライン開催 出席人数 962名、

(2) 生活研究

次に掲げる各種活動の内容向上のための研究と実践

- 1, 友の会「U12活動」の助成
社会情勢をふまえ「U12」への活動を助成した。
各地友の会が自主的に就学前の子どもと小学生、その親に対して生活講習会などを対面またはオンラインで開催した。
- 2, **SDGs** を目指す生活合理化啓蒙運動として下記の研究会を行った
 - *全国子ども生活研究会
開催日等 令和3年6月18日 オンライン開催 541人
テーマ「子どもの笑顔があふれる社会に」
「地域ぐるみで子どもを育むために」講師 栗栖真理氏
 - *全国生活研究会
開催日 令和3年7月13日 オンライン開催
海外含め 169友の会 692人
テーマ「真の合理的生活を広める」
－共にいきる社会のために何ができるか－

(3) 全国家計調査

全国友の会の行う家計調査、9110人が提出した。この調査のまとめをもって全国各地で開催する家事家計講習会などの資料としても活用した。

(4) 機関紙「友の新聞」の発行 年10回

国内、海外友の会を結ぶ役目を果たし、コロナで自宅待機期間が長くなった会員と各地友の会をつないだ。

(5) 友の会インターネット関係設備

友の会館のインターネット関係設備が整っていないところが多く、設置後は外部のまた海外からの参加もありオンライン上ではあるが新しい交わりが広がる。

第3 友の会の行う家事家計講習会に対する助成 助成金 208,409 円
全国一斉に開催される家事家計講習会会場費とオンライン開催のための助成を行った。会場開催 18 会場延べ 24 回、オンライン開催 40 友の会 141 回。

第4 「U6 プロジェクト」推進に対する助成 助成金 100 万円
友の会 U6 プロジェクト活動を推進させるための会議を 3 回行った。そのうちの 1 回は拡大とし、講師を招き保育園で遊びから学んでいく子どもの様子をうかがった。全国に呼びかけ、会員外の若い人の参加も多かった。
開催日 令和 3 年 12 月 16 日 オンライン開催 出席 627 人
講演「こどものみかた」 りんごの木代表 柴田愛子氏

第5 友の会東日本大震災復興支援活動に対する助成 助成金 0 円
今年度はコロナが収束せず実行できなかった。

第6 社会福祉援助、災害救援 助成金 250 万円
社会福祉
アジア学院 50 万円
志染愛真ホーム 50 万円
日本心身障害児協会 50 万円
災害援助
トンガ王国の火山噴火による被害が大きく
復興の為災害救援金を贈った 100 万円

第7 維持会員の異動状況

維持会員	期首	期末	増減
	15,408 人	14,612 人	-796 人